

安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

令和3年 夏 第66号

あかり

A K A R I

てんかんの手術	1
てんかんと新型コロナウイルス(COVID-19)感染症	3
てんかんと新型コロナウイルスワクチン(COVID-19に対するワクチン)	3
井上有史名誉院長先生がAmbassador for Epilepsy Award 2021に選ばれました	4
低糖質食品を活用して手軽にてんかん食	4
LINE@で情報配信中	5
新人自己紹介/職員募集のお知らせ	6
外来再診の診療体制/医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8

てんかんの手術

根治手術と緩和手術

てんかんの手術は、発作を止めることを目的とする根治手術と、発作の症状を和らげたり、頻度を減らすことを目的とする緩和手術に分けられます。根治手術では、発作の原因である大脳の一部を切り取ったり、切り離したりします。緩和手術としては、発作の興奮が伝わる経路を切り離す脳梁離断術や、大脳の異常な興奮を抑える迷走神経刺激療法などを行います。外科治療の適応検討では、手術でよくなるてんかんなのかどうか、どのような手術方法がよいのか、十分に術前検査をして調べます。根治手術の可能性をきちんと検討することが大切です。

手術へのステップ(図)

お薬の治療を続けているがなかなか発作がよくなる方では、まず、当院ではステップ1と呼ぶ検査入院にて、ビデオ脳波同時記録、脳の画像診断(MRI、PET、発作時SPECTなど)、神経心理検査などを行ないます。また、精神・心理学的評価や、患者さんの生活背景を把握することが非常に重要です。

ステップ1の結果を検討し、手術適応があるかどうか判断をします。手術適応があると判断された患者さんでは、直接切除手術(ステップ3)に進む場合、および、慢性頭蓋内脳波記録(ステップ2)を経て、切除手術に進むかどうかを決める場合があります。

てんかん外科治療の流れ



患者さんによっては脳梁離断術や迷走神経刺激療法の適応を検討

慢性頭蓋内脳波(ステップ2)は、脳の表面や内部に直接電極を入れて脳波を調べる検査で、MRIで異常の見られない方では必須ですが、MRIで明らかな病変を認める方では行われることは減ってきています。

なお、根治手術の適応がないと判断された患者さんでは、病態・病状によっては脳梁離断術、あるいは迷走神経刺激療法などの適応を検討します。

手術方法、手術成績

側頭葉てんかん、特に海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかんでは、手術によって約8割の患者さんが発作から解放されています。

内側側頭葉てんかん以外のてんかんについてですが、皮質形成異常、良性脳腫瘍、外傷、など、様々な病変によって生じた焦点てんかんが、切除手術の対象となります。この際に大切な手掛かりとなるのは、MRIで見ることのできる病変です。発作の原因である病変を含めた領域の切除手術が行われますが、MRIで病変を確認でき、発作の症状、脳波、脳磁図、SPECT、PETなどから予想される発作の焦点も病変と重なっていれば、発作が止まる可能

性は60～80%以上に達します。発作の原因となる領域が広い場合には多脳葉の離断術、片側の大脳半球全体が発作の原因である場合には、大脳半球離断術を行います。

MRIで病変が見つからない方では、多くの場合、切除手術に進

むには脳の表面や脳の内部に脳波電極を埋め込んで発作の出現する場所を調べることが必要となりますが、手術で発作が止まる可能性は50%程度に留まります。

合併症のおそれは手術の部位によって様々ですが、その可能性は術前検査や手術方法の進歩によって、かなり少なくなってきています。手術の前にはPETや神経心理検査なども行って、脳が働いている領域と、働きが低下している領域をよく見極めたうえで切り取る範囲を決めることが大切です。

包括医療の重要性

手術は単に発作を止めるだけでなく、それに伴うQOLの向上を究極的には目指すものです。当院では、脳外科医だけでなく、看護師、精神科医、臨床心理士、ソーシャルワーカー、リハビリテーションなど、多職種チームによる包括医療を目指しています。手術は決して治療のゴールではなく、その後も続く治療の中での、大きな通過点として位置づけるべきものです。当院では、心理・社会的な側面も含めて、術後も継続的に支援が行なえるようにこちらがけています。 (臨床研究部長 臼井 直敬)

?!

てんかんと新型コロナウイルス(COVID-19)感染症

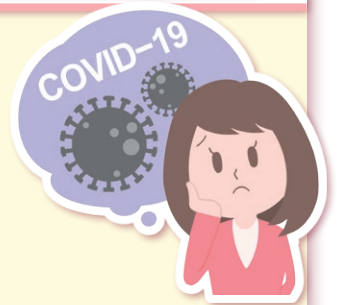
小児科医長 大谷 英之

一般の方と比較し、てんかんの方が新型コロナウイルスにかかりやすいという根拠や報告はありません。ただし他の病気を持っている場合や、免疫に影響する薬を使用している場合、またてんかんの原因となる病気によっては、感染や合併症のリスクが高くなる方もいらっしゃいます。

てんかんの方が新型コロナウイルスにかかった場合の、てんかん発作が悪化する危険性は前述の国際てんかん連盟の報告によると高くはないようです。しかし体調不良時や発熱時にはてんかん発作が増悪する方もいらっしゃいますので気を付けるべきでしょう。

てんかんと新型コロナウイルス感染症について、国際抗てんかん連盟がまとめていますのでご参照ください。

<https://www.ilae.org/patient-care/covid-19-and-epilepsy/for-patients/faqs-in-japanese1>



効果 副作用

てんかんと新型コロナウイルスワクチン(COVID-19に対するワクチン)

小児科医長 大谷 英之

てんかんの方への新型コロナワクチン接種に関して、現在十分なデータがまだありません。国際抗てんかん連盟による、「新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチンとてんかんをもつ人」という記事をご参照ください。

<https://www.ilae.org/patient-care/covid-19-and-epilepsy/covid-19-vaccines-and-people-with-epilepsy/covid-19-vaccine-japanese>

またドイツでの経験によると、54名のてんかんの方が1回目の新型コロナワクチンを接種された結果、約2/3の方が特に副作用は出現せず、33%の方が一般的な予防接種の副作用を経験されました。一般的な副作用としては、頭痛(17%)、倦怠感(15%)発熱と震え(9%)、消化器症状(4%)でした。てんかんに関する接種後数日以内の副作用として、一人の方が翌日に発作頻度が増加し、もう一人の方が新しい発作型の発作が出現しました。しかし接種された方の全員において、てんかん重積発作やより激しいてんかん発作が生じたり、もともとあった抗てんかん薬の副作用が増悪したりはしませんでした。(Epilepsy Behav. 2021 Sep; 122: 108160.doi: 10.1016/j.yebeh.2021.108160)。

ワクチン接種後に一時的に発熱などの体調不良が生じる可能性はどなたにもあるため、これまでそのような体調不良時にてんかん発作が増悪した経験のある方は同様の状況が生じるかもしれません。ワクチン接種による新型コロナウイルスへの予防効果と、ワクチン接種後の体調不良による影響を考慮し、ワクチン接種を受けるかどうかを判断する必要があります。

井上有史名誉院長先生が Ambassador for Epilepsy Award 2021に 選ばれました

国際抗てんかん連盟(ILAE)及び国際てんかん協会(IBE)は、てんかんケアの発展やてんかんのある人の幸福のために、科学、臨床、教育、あるいは心理社会的分野で国際的な貢献をした人々に、2年に一度、Ambassador for Epilepsy Award(てんかん大使賞)を授与しています。当院の井上有史名誉院長が2021年の受賞者に選ばれました。



低糖質食品を活用して手軽にてんかん食

栄養管理室 鷺見 明里



近年低糖質ダイエットブームの影響もあり、低糖質な食品が多く発売され、スーパーやドラッグストア、コンビニなどで手に入りやすくなりました。ケトン食や修正アトキンス食などのてんかん食療法と聞くと、多くの方が『おいしい』を我慢しなくてはならないと感じられるかと思いますが、これらの低糖質食品を上手に活用することで、手軽においしい食事を楽しむことができます。

当院の栄養指導では献立の提案だけでなく、普段の食事にとり入れやすい低糖質食品を、ご希望に合わせて紹介させていただきます。主食の代わりとなるような低糖質なパンや麺、調理に便利な低糖質の合わせ調味料や低糖質パン

粉、間食に楽しめそうなお菓子、忙しいときに便利なレトルト食品など、各種ご紹介可能です。また最近では、低糖質のお弁当を通信販売で購入することが可能となり、食事療法中でもライフスタイルに合わせて様々な選択ができるようになりました。またこれら低糖質食品を活用したレシピは、栄養指導以外に当院のホームページにあるケトン食ブログにて、随時情報提供を行っております。

食事療法の継続には無理をしないことが大切です。市販品などを活用して上手に手抜きをしてみましょう。私たち栄養士はどなたでも続けられるよう、個々の状況に見合った栄養指導でサポートさせていただきます。



低糖質パン粉・ソースで作った「とんかつ」(糖質2.0g)



低糖質麺で作成した「冷やし中華」(糖質2.6g)

てんかん食療法は個々の状況に応じて食事内容等が異なります。聞きたいことがある方は主治医もしくは栄養士にお声掛け下さい。



LINE@で情報配信中

静岡てんかん・神経医療センターでは、
LINE 公式アカウントにて
情報の配信を行っています。

下記の **QRコード** または
ID から友だち追加 !!



友だち追加方法

ID 検索



LINE アプリの「友だち追加」から「ID 検索」で追加してください。

QR コード



「QR コード」で追加してください。

新人自己紹介

臨床検査科 臨床検査技師 伊藤 綾香

出身は愛知県で大学は滋賀県の長浜バイオ大学に通っていました。

中央脳波室に配属され、覚えていくことやわからないことが多くありますが、先輩方にご指導いただきながら早く仕事に慣れて少しでもお役に立てるように一生懸命努めて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

臨床検査科 副臨床検査技師長 佐橋 恩

7月1日付で国立長寿医療研究センターより異動してまいりました。

静岡県への赴任は2度目です。静岡の人々は心温かく、風光明媚な自然も豊かなので、思い切り満喫したいと思います。よろしくお願いいたします。

職員募集 のお知らせ



麻酔科医師 募集

常勤職員

業務内容 手術はてんかん外科手術(全身麻酔下の開頭術)で、原則として月曜と水曜に行います。

資格 医師免許

薬剤師 募集

非常勤職員・育児休業代替

業務内容 入院患者が使用する薬剤の調剤及び病棟業務等

採用期間 随時～令和4年9月30日(予定)

資格 薬剤師免許

言語聴覚士 募集

期間職員・育児休業代替

業務内容 入院患者への言語聴覚士業務

採用期間 随時～令和4年9月30日(予定)

資格 言語聴覚士免許

ご希望の方や、給与・勤務時間等待遇の詳細についての確認は、病院ホームページをご覧ください。

HP <https://shizuokamind.hosp.go.jp/recruitinfo/>

担当 独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
事務部 庶務係長 福島

TEL 054-245-5446



診 療 体 制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

診察室	初 診					再 診					
	曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室								山崎	川口	山崎	白井
第2診察室						荒木 保清	徳 本	池田仁 <small>午前のみ</small>	荒 木	大 松	
第3診察室		今井 克美			白井 直敬	今井 克美	今 井				
第4診察室									日 吉 (代診)		川 口
第5診察室							池 田 仁	池 田 浩	池 田 浩	寺田清 (代診) <small>※第4週はなし</small>	
第6診察室							芳 村			芳 村	松 平
第7診察室			山口 解冬					荒 木			山 口
第8診察室	高橋 幸利				高橋 幸利			西 田	高 橋		近 藤
第9診察室		川口 典彦	芳村 勝城				重 松			大 谷	大 谷
第12診察室	西田 拓司		松平 敬史	池田 仁	山崎 悦子						

脳神経内科

■ 初診

診察室	曜日	月	火	水	木	金
第10診察室	午前	高嶋	小尾	小尾		小尾
	午後	小尾 智一	小尾 智一	小尾 智一		小尾 智一
第11診察室	午前	杉浦	杉浦			山崎
	午後	杉浦 明		寺田 達弘		山崎 公也 尾内 <small>第4週</small>
第13診察室	午前			高嶋		

特殊外来

認知症疾患医療センター	月・水	小尾 智一
	金	山崎 公也
遺伝カウンセリング外来	適宜	高橋 幸利 小尾 智一

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しく下さい。

地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

T E L ■ 054 - 246 - 4580

F A X ■ 054 - 246 - 4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人 ■

西田 拓司 松下 剛 横山 由香
矢嶋 隆宏 佐倉 裕二 葛城 裕幸
田中佐代子 高橋 輝 長田 英喜
福島 啓介

発行 ■ 令和3年8月31日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター
〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054 - 245 - 5446

F A X ■ 054 - 247 - 9781

U R L ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp>

E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

はじめて当院を受診される方へ

◆診察は予約制になっています◆

1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)
その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,750円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 セカンドオピニオンについて

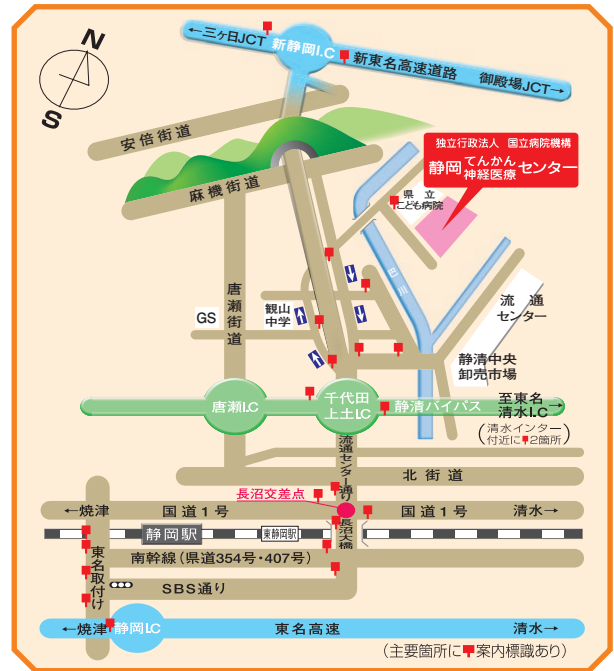
セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人370円、小児190円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
お車の場合	東京方面から
	名古屋方面から
東京方面から	● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
名古屋方面から	● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 ● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



本

● 抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

● てんかん症候群(第5版)

～乳幼児・小児・青年期のてんかん学～
【中山出版、2014年】

てんかん学の「ブルーガイド」として世界的に普及している「Epileptic Syndromes(原書第5版)」の日本語翻訳版です。4版よりも10%以上ボリュームが増え、より詳しい内容になり、他では決して得られない極めて貴重なてんかん発作の動画付き。静岡てんかん・神経医療センターのスタッフが総力をあげて翻訳しています。

● 新 小児てんかん診療マニュアル 【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

● プライマリ・ケアのための

新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供 <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)